

# 青木村消防団広報

## KODAMA

No. 20

発行所／青木村消防団 〒386-1601 長野県小県郡青木村大字田沢111 TEL.0268-49-0111  
発行責任者／林 正男 編集／青木村消防団本部班

発行：平成27年11月1日



## 消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会 結果報告

### 第52回 青木村消防ポンプ操法大会

#### 【小型ポンプの部】

優勝 第3分団  
準優勝 第1分団  
第3位 第2分団  
第4位 第4分団

技能賞 第3分団 堀内 巧さん



### 第36回 青木村消防ラッパ吹奏大会

#### 【個人の部】

優勝 第1分団 相澤 良通 さん  
準優勝 第3分団 増田 唯志 さん  
第3位 第1分団 松田 和也 さん  
努力賞 第2分団 上原 万茂 さん

#### 【団体の部】

優勝 第1分団 村松部  
準優勝 第3分団  
第3位 第2分団  
努力賞 第1分団 当郷部

### 第57回 長野県消防ポンプ操法大会 上小地区大会

#### 【小型ポンプの部】

第4位 第3分団  
第11位 第1分団

#### 【自動車ポンプの部】

第6位 青木村消防団

### 第38回 上小消防ラッパ吹奏大会

#### 【団体の部】

第9位 青木村消防団

#### 【個人の部】

第11位 第3分団 増田 唯志 さん  
第13位 第1分団 相澤 良通 さん



出場された選手の皆さん大変お疲れ様でした。

また、選手を支え、ご声援をくださった御家族をはじめ地域の皆様に深く感謝申し上げます。

### ■第三分団

機械班長 松澤 秀樹  
今年度、第三分団は「いつも通り!!」を合言葉に、青木大会で優勝、上小大会で賞状を貰う事を目標に4月から練習を始め、3か月間第三分団全員で一致団結し頑張ってきた。そして1年の4分の1が操法中心の生活の中、支えてくれた家族や仲間の思いを背負い操法に挑みました。

青木大会当日は悪天候ではありましたが、合言葉の「いつも通り」の操法ができ、第三分団として、初めて優勝することが出来ました。

上小大会では、目標としていた賞状には一歩届かず4位という結果に終わりましたが、上小エリア唯一の村ということで、他の市や町に比べると団員の数も減少してきている中で、青木だつてやれば出来る!ということとを証明できたのではないかと



第3分団ポンプ操法



第1分団ポンプ操法

最後に、この3か月間の経験を消防活動以外にも活かし、又、青木村消防団に関わる全ての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

### ■第一分団

機械班長 中澤 徹

今年度 第一分団では初の試みとなる合同チームで大会に臨むことになりました。練習・指導方法が違う部が一つになるという事で選手・周りの方々も不安からのスタートだったかと思えます。

しかし、部の垣根を越えての皆様からの励ましの中、精一杯やり抜くことができました。歯がゆい思いをされた方もいると思いますが、第一分団にとって大きな一歩を踏み出した年に指揮者を全うできたことを光栄に思います。

最後に共に頑張ってきた選

手・指導者の方々、関係者の皆様、家族に心から感謝申し上げます。

### ■第三分団 下奈良本部

ポンプ車 指揮者 堀内 巧

今年度のポンプ車操法は初の試みとして、各分団より選手を募り、合同チームで行うこととなりました。

そんな中、指揮者を任せられ引き受けてはみたものの、ポンプ車操法自体よくわからない自分で務まるのか不安でした。各分団それぞれに、練習方法や指導方法があり、操法へのこだわりがあります。練習を進めていく中でそれを一つにまとめ、自分たちの操法を作り上げていく過程で、指揮者として決断しないとイケない場面が多々あり、苦労することもありました。それでも、上小大会において



自動車ポンプ操法 (指揮者 堀内 巧さんは青木村大会にて技能賞を受賞)



自動車ポンプ操法 (指揮者 堀内 巧さんは青木村大会にて技能賞を受賞)

て、群雄割拠の上小大会を勝ち上がってきた六チームに、一つ割って入ることが出来るチームになれたのは、選手はもちろん、指導者、取り巻きの方々の消防に対する熱い情熱があったからこそだと思えます。

この頼りない指揮者に最後までついてきてくれた選手のみならず、時に厳しく、時にやさしく指導してくれた指導者の方々、献身的に練習の準備をし、支えてくれた取り巻きの皆様、大会でポンプ車チームに自分団のと同じように声援をくれた各分団の団員の方々、上小大会まで足を運んでくださったOBの方々。今年度、ポンプ車操法の指揮者をやらせていただいたことのできた皆さんとの絆は、私の一生の財産となると思えます。

ポンプ車操法の指揮者ができて幸せでした。ありがとうございました。

### ■第一分団

ラッパ班 相澤 良通

昨年に引き続き、ラッパ吹奏個人の部にて上小大会に出場させて頂きました。今年度は不甲斐無い成績に終わってしまい、後悔の残る大会となりました。

反省すべき点は多々ありますが、ラッパ班の活動は大会だけでは無く、運動会や出初式などラッパを吹く機会がありますので、名誉挽回できるよう努力していきたいと思えます。

最後に、これまでご指導ご声

援頂いた青木村消防団並びに村民の皆様、本当に有難うございました。そして、一番近くで支えてくれた家族に感謝していただきます。



ラッパ個人 相澤良通さん吹奏

ラッパ班になって四年。個人吹奏青木大会準優勝。念願の上小大会へ出場することができました。結果は上小大会独特な雰囲気にもまれてしまい実力を発揮することができませんでしたが清水ラッパ班を始め指揮者の山浦消防班長、ラッパ班の仲間、また、OBの先輩方の支えがあり青木村一丸となって大会に臨めた事を誇りに思います。最後に日頃の消防団活動にご理解ご協力してくださった村民の皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



ラッパ団体吹奏

### ■第一分団

ラッパ団体指揮者 片田 和美

昨年まではラッパ班として吹奏をしていたのですが、今年度はラッパ団体の指揮者として日々練習に取り組んできました。

最初はうまくできずに不安になりましたが、ラッパ班の皆さんと協力して頑張った結果、青木大会また上小大会において素晴らしい吹奏ができたのではないかと思います。

日々消防団の活動を支えてくださる関係者の皆様、そしてラッパ班の皆様に変感謝申し上げます。

### ■第一分団

ラッパ班 松田 和也

青木村消防団ラッパ班は他と比べ非常に少ない人数で活動しています。そのような状況の中でも訓練を重ね、上小大会では皆がひとつにまとまり、堂々とした演奏を披露することができました。

大会は終わってしまいました。今年度のラッパ班の活動はまだまだ続きます。訓練を重ね、今のメンバーで更に演奏技術を向上させていきたいです。

これまで共に訓練に励んだラッパ班の皆様、応援してくださった方々に感謝申し上げます。



ラッパ個人 松田和也さん吹奏



ラッパ個人 上原万茂さん吹奏

### ■第二分団

ラッパ班 上原 万茂

ラッパには、個人戦がありますが、一人で吹くのは緊張して、いつもの実力を出せなものです。でも、団体で吹くラッパは、新人もベテランも一人一人がカバーしあって、一曲の曲を作り上げます。そこが楽しいし、何より分団の壁を越えたチームワークが楽しかったです。

大会を終えても、ラッパ班は一年を通して、行事がたくさんあります。もっともっとチームワークは良くなっていくでしょう。

あなたも消防団に参加しませんか?  
40歳以下の方なら男女問いません。  
**地域の安心・安全のため共に頑張りましょう!**  
お問い合わせは青木村役場総務企画課 (NTT・情報電話共通 49-0111) まで。

■上級救命講習会を受けて

水利救護長 片田 勇司

昨年十月に女性班が結成され、救護の知識を増やそうと、九月十二日に上小管内で行われた上級救命講習会に団長を含む、本部五名、第一分団一名、第三分団二名、女性班四名、計十二名が受講して来ました。普通救命に加え、小児の応急手当、外傷手当、異物除去、搬送法等八時間の講習に挑んできました。

講習の中一番の問題点と感じたことは、救急車が到着するまでに全国平均で約八分掛かるという事とまた地方によっては八分以上要する事です。人間の脳に酸素を供給できない状況では約三分〜四分で脳に影響を受けてしまいます。その差四分〜五分の間の対処法としてはやはり、早く心臓を動かす事で蘇生法とAEDの活用が重要と学んで来ました。又五年毎に人命を守る為に内容が更新される為、新しい知識が必要と感じました。今後は、講習で受けた知識を村内にも多く広めて行きたいと思えますし出来るだけ多くの方に受講をして頂きたいと思えます。

青木村消防団へようこそ！ 平成27年度青木村消防団新入団員よりひと言づつ頂きました。



第1分団 小林 弘典さん

今年度より第一分団当郷部に入団しました小林です。

近年、気候変化の影響からか自然災害も増加の傾向にあり対策や防災などを心掛ける機会が多くなり益々地域活動の大切さを感じております。

まだ分からない事だらけですが、消防団の活動を通じて、青木村地域防災、地域貢献にすこしでもお役にたてるよう頑張りたいと思いますのでご指導の程、よろしくお願い致します。



第1分団 吉田 陵さん

今年度より第一分団村松部に入団しました吉田陵です。教わることばかりで地域への貢献どころか、ご迷惑ばかりお掛けしています。少しでも地域の皆様のお役に立てるよう、積極的に消防団の活動に参加していこうと思っています。ご指導のほどよろしくお願い致します。



第1分団 西川 文武さん

今年度より第一分団村松部に入団しました西川文武です。

仕事の都合等、あまり活動に参加できず先輩方々にはご迷惑おかけ致しますが、消防団員として青木村の皆様にご貢献できたと感じています。

宜しくお願い致します。



第2分団 若林 祥平さん

私はずっと青木村で生活してきましたが、消防団に入ったのは30歳になってからでした。

青木村消防団に入ってまだ日は浅いですがやりがいを感じながら楽しく活動させて頂いております。

私は入団してすぐにラップ班になり先日上小大会も経験させて頂きました。

団体で何かに打ち込むというのは、とても気持ちよく団結するという事の大切さも思い出させて頂きました。上小大会での演奏後の達成感は忘れることはないでしょう。

これからも青木村消防団としての活動は続きますが、年々人数が減っていき少数精鋭の精神でやっていかなければならないと、私は考えます。

いつ起こるかかわからぬ火事や自然災害に備え、これからは自分が青木村の安全を守るんだという気持ちで活動を続けていきたいと思っています。



第2分団 小林 光博さん

今年度より第二分団中挾部に入団しました小林光博です。

地元である青木村に帰ってきたことを機に、入団させていただくことになりました。

近年は地震や豪雨、雪害といった自然災害が多くなっていると感じています。ですので、諸先輩方にご指導いただきながらしっかりと準備を整え、火災だけでなく、万が一の際には、地域の方々のお役に立てるよう、努めていきたいと思えます。

まだわからないことも多いのですが、宜しくお願いします。



第4分団 丸山 悟史さん

今年度より青木村消防団第四分団に入団しました丸山悟史です。

これからは消防団の一員として災害があった際には迅速な対応ができるよう頑張っていきたいと思えます。

まだ入団したばかりで分からないことだらけですが、先輩方のご指導を頂きながら青木村や住民の皆様のお役に立てられるように努めていきたいと思えます。

宜しくお願いいたします。



第4分団 清水 暁さん

今年度より第四分団夫神部に入団させていただいた清水です。

元々、父が入団していたので私もいつかはやるように言われていたので入団しました。

青木村は地域の方との交流や助け合いが大切だと思うので徐々に交流を深めていけたらいいなと思えます。早朝の活動が多いのでとても大変ですが、いざという時に役に立てるように訓練していきたいと思えます。まだまだ右も左もわからない状況ですが御指導のほど宜しくお願い致します。